

独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構が発行する
「ソーシャルボンド」への投資について

観音寺市は、このたび、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構（以下、「同機構」という）が発行するソーシャルボンド（政府保証第508回日本高速道路保有・債務返済機構債券、以下「本債券」という）への投資を決定しましたので、お知らせします。

「ソーシャルボンド」とは、「社会貢献債」とも呼ばれ、社会的課題の解決に資するプロジェクト（ソーシャルプロジェクト）の資金調達のために発行される債券です。

同機構のソーシャル・ファイナンス・フレームワークは、2022年3月、ICMA（International Capital Market Association／国際資本市場協会）が定義する「ソーシャルボンド原則」及び金融庁「ソーシャルボンド・ガイドライン」に適合する旨、株式会社格付投資情報センター（R&I）からセカンドオピニオンを取得しています。

本債券の発行による資金調達は、同機構が担う高速道路事業における債務のリファイナンスに充当され、「持続可能で強靱な国土の形成」、「地方創生・地域活性化」という社会課題の解決に活用されます。同機構の事業は、国連の策定する持続可能な開発目標（SDGs）^{注1）}のうち、「目標3:すべての人に健康と福祉を」、「目標8:働きがいも経済成長も」、「目標9:産業と技術革新の基盤をつくろう」、「目標11:住み続けられるまちづくりを」、「目標13:気候変動に具体的な対策を」等の達成にも貢献します。

今後も、観音寺市はその公共性、公益性に鑑み、持続可能な社会の実現に寄与すべく、社会的使命・役割を果たして参ります。

<本債券の概要>

銘 柄	政府保証第508回日本高速道路保有・債務返済機構債券（ソーシャルボンド）
年 限	10年
発行総額	150億円（観音寺市の購入額1,000万円）
利 率	1.502%

注1） 持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が掲げる、加盟各国が2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットのこと